

みどり

第49号

題字 井上 典子 園長



「輝く笑顔のために」

川部みどり園には、時が流れても、変わらない生活があります。一方で、諦めず取り組みを続けることで変えることができる生活もあります。利用者さんにとってはどちらも大切です。私たち職員は、利用者さんの日々の生活を守りながら、利用者さん一人ひとりの力を信じ“変化”を生み出す努力を続けていく必要があると思っています。

4月の離着任式で、私たち職員を迎えてくれた、たくさんの笑顔がもっともっと輝けるよう、「前を向いて粘り強く！一人ひとりの“思い”に寄り添う支援！！」をスローガンに今年度も力を尽くして参ります。

園長 井上典子

できた！の笑顔が広がる

川部みどり園での日々の支援と、利用者さんの成長や頑張っておられる様子をご紹介します。

西棟

小学3年生のT君は、自分で学校の準備をする練習をしています。毎日必要なものがたくさんあるT君。

“忘れ物ゼロ”を目指して日々奮闘しています！最近は、自分で気づいて準備できることも増え、学校の先生からも「忘れ物ないね～、素敵！」と褒められることが増えてきました。さらには、準備を10回がんばると大好きなアイスクリームが食べられるという、ご褒美付き。う～ん、悪くない(笑) T君が、「自分でできること」、を増やし、「できることが増えること」で選択肢も広がり…、よりよいT君の生活のために、今後もサポートをしていきたいと考えています。(坂井)



北棟

北棟では、子どもたちの豊かな内面をさらに伸ばして、より充実した生活・将来へと繋げていくために、「自分の気持ちを相手に伝えよう！」というテーマで“コミュニケーション支援”に取り組んでいます。

その中から、Y君の取り組みを紹介します。Y君はとっても優しく笑顔の素敵なお子さんです。Y君の気持ちを少しずつ表現していく試みとして、①コミュニケーションカードを用いて「部屋を開けてください」等の自分の思いを相手に伝えたり、②お菓子カードの中から今食べたいおやつを自分で選択したりしています。このような取り組みの中で、「できた！」と褒められる経験を積み重ねることで自信をつけ、少しずつ表現の幅が広がっています。日々目覚ましい成長を見せてもらっています。(小川)



東棟・生活介護A班

生活介護A班、東棟では、「構造化」について、数人の利用者さんを対象に取り組んでいます。「構造化」とは、1日の日課や、活動の内容を利用者さんが理解しやすいように、視覚的に表示する等、支援の環境を調整することです。今回は、その中からTさんとKさんの取り組みをご紹介します。

Tさんの現在の目標は、「自立して取り組める活動を増やす」ことで、現在その一環としてボルトナットの組立作業に取り組んでいます。Tさんに対しては、写真や絵カードで作業工程を視覚的に伝えること、Tさんが集中して作業に取り組める作業環境の設定に重点を置いて取り組みを行っています。それらの取り組みの結果、現在では1時間程、職員の指示が無くとも落ち着いて自分の課題に取り組むことができています。

Kさんについては、今年度から構造化の取り組みを始めました。Kさんに対しては、現在「伝え方」の工夫を中心取り組みを行っており、1日のスケジュールや活動の内容などを写真や絵カードで視覚的に伝えることから始めています。また、作業能力支援として毎日6種類の作業に継続的に取り組んでもらっています。それら作業内容についても写真などで視覚的に伝えるようにしています。「伝え方」の工夫の効果か、以前見られたような日課の誤認は少なくなっています。(田村)



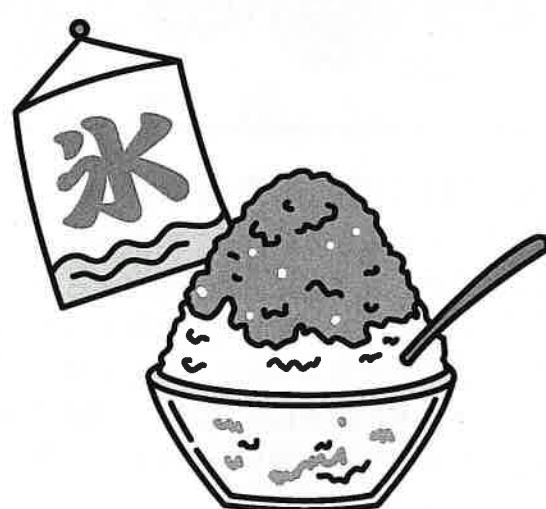
南棟

南棟からは、明るい笑顔がチャームポイントのOさんを紹介します。

いつも元気で明るいOさんですが、家族と離れて暮らすのは初めてのため、入所してから半年は、とてもさみしかったそうです。今は、園での生活に慣れて自信がつきました。週末に帰省する際は一人で公共交通機関を利用しています。



公共交通機関を一人で利用するのは大丈夫ですが、家からみどり園までは遠いので、朝早く起きることになり、今でも時々、「しんどいな。」と思うことがあります。でも、遅刻しないように頑張っています。(佐藤)



就労移行支援班



Uさんが園に来た当初は声が小さく、職員はUさんの声が聞き取れずには聞き返すことが度々ありました。そんなUさんが、最近は自分から積極的に行動し、声も聞こえやすい大きさで話してくれます。

そのきっかけとなったのは、「Uさんができることが増えていく表」を作成してからです。訓練を重ねていくうちに、「できること」がどんどん増えました。Uさんが自分で書いて、笑いながら見せてくれることもあります。「できること」が増えたこと、「できること」が分かったことで、自信がつき声の大きさや行動に変化が出たのではないかと思います。
(平井)

生活訓練班

「私変わったので！」

生活訓練班のNさんです！利用開始時は、足元がふらつき、体のバランスもとりづらく、移動途中にたびたび転倒していました。常に職員が一緒に毎日でした。



でも、最近は違います。Nさん自身が「あの頃の私とは違います！」と言うほど見違えるようになりました。転倒することはほとんどなくなりました。食事にも気を使い減量にも成功しました。颯爽と歩き、苦手だった農園芸作業にもしっかりと参加できています。

本人の努力と我慢の賜物です。本当に、すごいです！バドミントンと一緒にできる日が楽しみです。
(前田)



生活介護B・C班は合同で体育教室を毎月2回実施しています。今年の目標は、「からだ全体を動かそう！」です。マット運動を取り入れて、利用者の皆さんのが四つん這いになって歩いたり、前転をしたりして、体力の保持を目指しています。

(河中)

生活介護B・C班

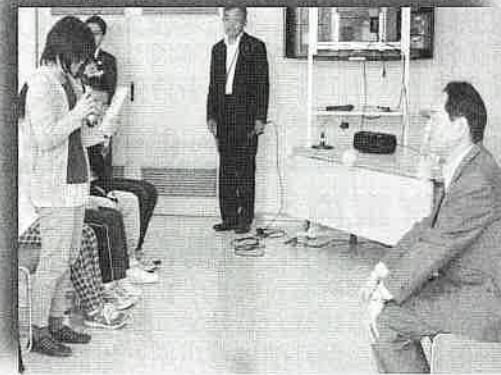
知事慰問



初めて浜田知事に会いました。とても緊張して、みんなの前で挨拶するのは恥ずかしかったです。でも、練習を何回もしたので、本番では少しあはれがありました。(就労移行支援班Uさん)

利用者の方のコメント

ペットボトルの楽器を使って「あと一つ」という曲を演奏しました。とても元気が出て、楽しかったです。(生活訓練班Iさん)



5月12日、爽やかな五月晴れの中、浜田知事の激励訪問がありました。利用者さんたちは、この日のために練習を重ねてきたトーンチャイムやペットボトルによる演奏で、歓迎の気持ちを表現しました。知事へのプレゼントに選ばれたNさんは、緊張しながらも、自ら撮った桜の写真と「僕の夢」と題した絵画作品を手渡しました。最後には知事を囲んで笑顔で記念撮影。それぞれいつもと違う特別な時間に満足げな表情でした。(池田)

川部みどり園の職員紹介

・西棟・



・園長・総務課・医務・



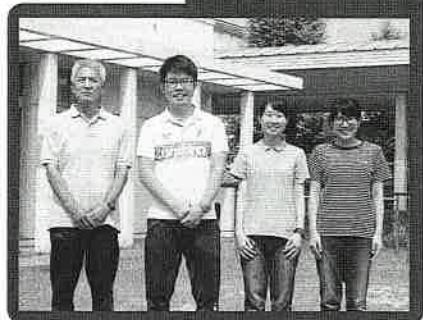
・東棟・



・給食・



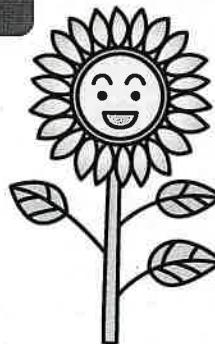
・北棟・



・南棟・



・地域課・



今年度もよろしく
お願い致します!!

◆ 地域交流 ◆ 地域の方との交流行事を紹介します。 ◆

<川部校区大運動会>

5月20日、川岡地区の大運動会が開催されました。児童課から4名の子どもたちが参加しました。幼児さんの可愛いダンスに始まり、高学年のカッコいいダンス、騎馬戦など、今年も子どもたちの元気と笑顔が弾けていました！地域との交流をこれからも大切していくとともに、子どもたちにはこれからもたくましく成長していってほしいと思います。（坂井）



《ボランティア状況》

新規登録件数は
2月1件 3月0件
4月6件 5月1件
(大西美)

苦情解決処理状況

(平成29年2月1日～
平成29年5月31日)
苦情受付件数 0件
(池田)

<<研修案内>>

10月23日、24日に「強度行動障害支援者養成フォローアップ研修」、11月1日からは「サービス管理責任者等研修」が始まります。

各研修の約2か月前に香川県と川部みどり園のホームページ内に詳細を掲載、同時に募集を開始しますので御確認ください。皆様の御参加をお待ちしています。（溝内）

◆ 川部みどり園まつりのご案内 ◆

第10回川部みどり園まつりは、10月21日(土)に開催します。まだ企画段階ですが、利用者さんによる歌や踊り、バザー、遊び広場、フリーマーケット等を考えています。多くの皆さんと一緒に楽しいお祭りにしたいので、是非ご来園ください。（大西美）

編集後記

今回は利用者の素敵な姿と、サポートさせていただく施設の取り組みを紹介させていただきました。これからも利用者さんと共に、前進し続けるみどり園でありたいと思います。（小川）

<編集・発行>

〒761-8046 高松市川部町418
香川県立川部みどり園 TEL(代)087-885-8600
E-mail:midorien@pref.kagawa.lg.jp
<http://www.pref.kagawa.lg.jp/shogaihukushi/midorien/>